

2018年8月3日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

東日本地区における中古機械倉庫の新設について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）は、中古機械を保管・展示するために新設する倉庫「リマシーン東日本（仮称）」の賃貸借契約を清水建設株式会社（東京都中央区、取締役社長：井上 和幸、以下「清水建設」）と締結しました。同倉庫の建設と保有は清水建設が行い、竣工は2019年3月を予定しています。SMFLは東日本地区の倉庫の集約と増床を行うことで、中古ビジネスの一層の強化を図ります。

「リマシーン東日本」は埼玉県川島町の圏央道川島IC付近の利便性の高い立地で設置します。保管スペースは現在のほぼ2倍となる約3,300坪（約11,000㎡）に増加し、リース会社が運営する中古機械の保管スペースとしては国内最大規模となります。SMFLでは、東日本地区の既存6棟の倉庫を集約する予定です。

本件により、中古機械の品ぞろえを一層充実させることでお客さまの選択肢が広がり、倉庫への交通アクセスが改善することで中古機械の購入を検討されるお客さまの利便性が大幅に向上します。また、搬出や搬入作業の効率化が進みます。今後、西日本地区でも倉庫の集約・増床を開始しており、同地区のお客さまへのサービスの向上と中古ビジネスの業務効率化を図ります。

SMFLでは、1994年から半導体製造装置の中古売買に参入し、2008年からは工作機械の取り扱いを本格的に開始しました。これまで培った幅広いネットワークを活用し、需要の高い高年式の中古機械の豊富な取り揃えに加えて、大型から小型の機械まで充実したラインナップを用意しています。また、保管中の中古機械のメンテナンスを常時適切に実施することで、お客さまへのスピーディな機械設備の導入をサポートしています。

SMFLは、これからもリース会社ならではの物件に対する知見やノウハウを活かした中古ビジネスを通じて、リユースを普及させることで循環型社会の実現に貢献してまいります。

以上

<お問い合わせ先>

広報IR推進室 五十嵐 TEL 03-5219-6334